

機関番号：40109

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2010

課題番号：20500526

研究課題名(和文) 北海道の伝承芸能を「舞踊譜」で保存する試み

研究課題名(英文) Trial to record traditional entertainments of Hokkaido  
Using "Dancing Sign Score"

研究代表者

赤川 智保 (AKAGAWA CHIHO)

札幌国際大学短期大学部・幼児教育保育学科・講師

研究者番号：80438407

研究成果の概要(和文)：無形文化財(無形民俗文化財)として指定されている北海道内の獅子舞の継承保存のために、舞踊譜の作成による方法論の提示を試みた。その典型事例として千歳市指定の無形民俗文化財「泉郷獅子舞」を取り上げた。バレエなどヨーロッパを起源とする舞踊譜記譜法とは異なる視点に立ち、本研究を担った赤川のオリジナル記譜法によって舞踊譜を作成した。この方法論の提示によって、継承保存が途絶えかけている獅子舞の復元を可能にできると考える。

研究成果の概要(英文)：To preserve "Shishimai" in Hokkaido that has been designated as intangible cultural asset (intangible folk cultural asset), we tried to present a methodology by creating a dance notation; which we define "Dancing Sign Score". We picked up Chitose-city intangible folk cultural asset "Izumisato Shishimai" as the typical case. And having a different perspective from dance notation score as to kind of ballet originated in Europe, the "Dancing Sign score" was created by AKAGAWA's original study. The presentation of this methodology can allow restoration of "Shishimai" that has ceased save over inheritance.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2009年度	600,000	180,000	780,000
2010年度	1,500,000	450,000	1,950,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：健康・スポーツ科学、身体教育学

キーワード：舞踊譜、伝承芸能、無形文化財、他移動、データベース

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 地域社会における獅子舞のような文化財が果たしてきた役割を再度、確認し、こうした地域文化の継承が、地域社会の活性化の一助になりうることを示して行くことが重

要であると考えた。

(2) 北海道内に継承保存されている獅子舞について、可能な限り、現地調査を実施し、その保存継承の方法を提示することを目指

した。

## 2. 研究の目的

本研究では、北海道の開拓期に本州から移住と共に持ち込まれた伝承芸能を調査し、その地域と産業と人々にもたらした舞踊の役割、変遷を背景に、今日、少子化による継承者不足や市町村合併や産業の移り変わりなどによって、伝承が危ぶまれている地域や、すでに伝承が途絶えてしまった地域も含め、これら伝承芸能を後世に残すべく、調査し保存することを試みた。

## 3. 研究の方法

(1) 初年度の 2008 年度は、本研究の典型事例と位置付けた千歳市無形民俗文化財「泉郷獅子舞」を核に、無形文化財、あるいは、無形民俗文化財に指定をされている獅子舞に焦点を絞って、現地調査を実施した。

(2) 2009 年度は、北海道各地に伝承されている無形民俗文化財の獅子舞を中心に、現地での映像による撮影や伝承経緯の聞き書き、文献の収集による採符と調査、舞踊譜制作のための舞踊記譜法の研究を行った。

(3) 最終年度の 2010 年度は、2 年間の研究を踏まえ、ひとつのまとめとして伝承芸能・獅子舞を舞踊譜で保存するための考察とアーカイブズ化の方法論を検討、典型事例として千歳市の「泉郷獅子舞」の詳細な分析、それによる舞踊譜の作成を行った。

## 4. 研究成果

(1) 舞踊譜の作成は典型事例として取上げた千歳市の泉郷獅子舞について完了した。この舞踊譜作成の方法論の提示、及び、調査対象としてあげた無形文化財、無形民俗文化財の現状調査をしたものを、報告書(およそ 9 万字)としてまとめた。

(2) 現地調査の対象として北海道内には 54 件の無形文化財、無形民俗文化財としての獅子舞が存在する。そのうち、実際に現地における調査を実施できたものが、13 件、アンケート調査による現状把握ができたものが 40 件余である。

(3) この研究の過程で、既に継承が中断している獅子舞が何件か存在していることが判明しており、できるならば、舞踊譜の作成によって継承のための手立てとして行きたい。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 2 件)

① 赤川智保、吉岡精一、「北海道の伝承芸能を舞踊譜で保存する試み」、札幌国際大学紀要第 40 号、p19-p37、平成 20 年(2009)、査読無

② 赤川智保、吉岡精一、「北海道の伝承芸能を舞踊譜で保存する試み—研究のまとめとして—」、札幌国際大学紀要第 42 号、p209-p221、平成 22 年(2011)、査読無

〔図書〕(計 1 件)

① 赤川智保、吉岡精一、岩川亜矢、「北海道の伝承芸能を舞踊譜で保存する試み—研究報告書」、共同文化社、平成 23 年 6 月

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

赤川 智保 (AKAGAWA CHIHO)

札幌国際大学短期大学部・幼児教育保育学科・講師

研究者番号：80438407

### (2) 研究分担者

吉岡 精一 (YOSHIOKA SEIICHI)

札幌国際大学・人文学部・講師

研究者番号：90438408

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：